



## 富洲原町案内って何？

平成の時代が間もなく終わります。時代を平成から昭和、大正へとさかのぼり、大正12年（1923年）に富洲原村は町制を施行して富洲原町となりました。

これから、ますます発展していこうと盛り上がりを見せたこの年に発行されたのが、「富洲原町案内」です。

そこには、当時の町役場など様々な写真をはじめ、42ページにわたる本文と多くの企業の協賛広告が掲載されています。

目次を見ますと、沿革に始まり、人情風俗、交通、教育、衛生、名所旧跡に至る、とても盛り沢山の内容です。

企業の協賛広告からは、この地域にはいろいろな業種の事業所が立地していることがわかります。

例えば、東洋紡績富田工場、平田漁網、三重織布などの写真もあって、大変興味深いものです。

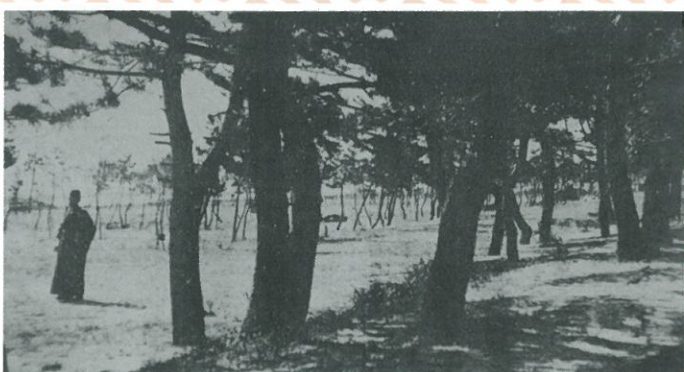
当時の富洲原町の戸数は1,602戸で、人口は男4,561人・女7,379人、計11,940人となっています。戸数のわりに人口が多いところから、紡績工場の宿舎で多くの女工さんが一緒に生活していた実態が読み取れます。



富洲原町役場



東洋町通り



須賀浦海岸

## 富洲原地区 H31/ 1/ 1現在

### 面積

2.04 Km<sup>2</sup> (市内24地区中で最小)

### 世帯数

3,851世帯

### 人口

8,735人 (男性4,317人・女性4,418人)